



来週の投資戦略 (4/27-5/1)

コロナの先の光を見たい

2020年4月26日

小松 徹

注目事項 - 見所

- 日米主要 1-3 月期決算 - 4-6 月期業績予想+ α ?
- 4月27日、日銀、金融政策決定会合 - 購入対象のリスク資産拡大か?
- 4月28-29日、米連邦公開市場委員会 (FOMC) - 現状維持?
- 4月30日、3月の鉱工業生産指数 - 前月比 5.2%減?

株式市場見通し

先週の原油先物価格 (WTI) 5 月渡しのマイナス値には驚いた。世界中で急激な原油需要の低下に生産国の供給削減が追い付かなければ、こういうこともあると金融の教科書に記載されるだろう。備蓄可能な原油タンクに限度があることから、原油価格は今後も不安定な動きが予想される。先週の日米株式市場はともに反落した。これまでは政府と金融当局に視線が注がれたが、これからは個別企業の 1-3 月期決算と 4-6 月期予想に注目が集まる。現下の状況で良い決算数値を出せる企業はほとんどないだろうから、期待度を低くして見る方がよいだろう。

例えば、先週木曜日引け後に決算発表したオムロン (6645) は 1-3 月期決算がアナリスト予想値を上回ったが、今年度の予想値ばかりか、4-6 月期予想も出さなかった。しかしながら、会社は現時点までの生産や売上状況を丁寧に説明し、さらにコロナ後の世界を見据えて成長分野に資源を投資していることが、投資家に評価されたようだ。金曜日引け後に決算発表したアドバンテスト (6857) は 4-6 月期見通しを、ファナック (6954) は 4-9 月期見通しを発表した。ADR 市場では両社とも好感されている。

来週決算発表する企業のうち、KPA が特に注目しているのは月曜日の花王 (4452)、火曜日の信越化学工業 (4063)、木曜日の東京エレクトロン (8035) など。いずれも値高成長株で外国人投資家や機関投資家の保有比率が高い。アナリストは花王の 1-3 月期、4-6 月期ともに営業利益が前年比微増になるとみているが、KPA は減益もありうるとみている。信越化学の 1-3 月期営業利益は微増益になるとアナリストはみているが、4-6 月期の動向を示唆する質疑応答に注目。会社は通常この時期に予想数値を出さない。エレクトロンは受注を公表してないので、今期予想を出さなければ、やはりアナリストとの質疑応答が大切になる。会社は全ての内容を HP で公開する。

来週は日米の金融政策が発表される。通常であれば、注目度が高いが今回はそうでもないだろう。すでに日銀の取りうる策は限られており、今回 CP・社債を買うなどの情報もすでに報道されている。一方、米連邦準備銀行 (FRB) は通常の日程に関係なく、これまでに次々と新たな手を打ってきた。恐らく今回は一休みではなかろうか。最後に、やはり 2 週間前の大幅高も日銀と年金の買いであった。今年は外国人投資家が売り越しても、市場が大幅に下がらなかつたという記録に残る年になるかもしれない。

KPA の投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期増益株	高 PB 低位株、高 PE 新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPAの役員あるいはKPAのお客様は花王を保有しています。

©2000–2020 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.